



事業所通信No.183

特定非営利活動法人はちくりうす
 東京都目黒区鷹番3-14-9
 Tel : 03-3793-3012
 Fax : 03-5856-6700
 E-mail : office@Scurious.or.jp
 https://www.facebook.com/Scurious
 編集担当：島村喜久恵



動画サイトの情報を集めてみました！

知的障害のある人の 自立生活について考える会

1.シンポジウムアーカイブ

2021年6月12日(土) 13:00-16:00で行われたイベントの
 期間限定(10/15~11/15)公開
 申し込みフォーム

[https://
forms.gle/7QUv9JZZCEXo43EC7/](https://forms.gle/7QUv9JZZCEXo43EC7/)



2.風雷トーク

10/6に収録した「文化価値観の違い」をテーマに話を
 広げたトーク。櫻原もトークに参加しています。

<https://www.youtube.com/watch?v=C3yugshXHQM>



福祉機器展

●WEB展には200社超の出演社が参加！
 Webセミナーや出演社プレゼンテーションなど、
 期間内何度でも閲覧可能！
 公開期間は10月11日(月) から12月10日(金)
 Web展の閲覧には登録が必要です。

<https://www.hcr-web.or.jp/login>

●リアル展は11月10日~12日 10~17時。
 今回は場所が変わって東京ビッグサイト青海展
 示場になるので、お間違えのないように。
 WEBからの入場登録が必要です。

[https://
www.hcr-web.or.jp/register](https://www.hcr-web.or.jp/register)

【TBS報道特集】コロナ禍 苦悩する障がい者たち

消えた耳印。視覚障がい者の苦悩
<https://youtu.be/EdaxkG314Xs>



コロナ禍で町の音が減っ
 ていつもの音が消えた。
 その事が音の世界で暮ら
 している視覚障害者にとっ
 ていつもと違い暮らし難
 くなっている。

また、マスクで口元が
 見えず、口元を見て会話
 をする事が出来なくなっている。点字ブロックの音声情報などの
 情報も初めて知った。白杖が上がっていたら、まずは声をかけよ
 う。はちくりうすでは視覚障害者の利用は少ないけれど、大変さを
 共有していきたい。



はちくりうすの youtubeチャンネル を手伝ってくねま せんか？

はちくりうすのyoutubeチャン
 ネルを作りたいなあ・・・と思いなが
 ら1年が経過しています。

動画作成に詳しい方、興味がある
 方、お手伝いしていただけませんか？
 ガイドの様子や、料理動画など、撮
 影や編集を手伝って戴けると助かり
 ます。また、面白いアイデアがあれば是非！

声かけは広報担当・島田まで。

たこの木連続講座
第2回

知的障害のある息子、娘をもつ親の子と共にある地域生活

9月19日(日)の午後たこの木連続講座の第2回目は親や家族をテーマにした内容でした。

●今回もZoomによるONLINE開催で、講師による話題提供、グループに分かれてのディスカッション、そしてたこの木恒例の2部3部の懇親会という設定でした。講師を務めてくださった染谷莉奈子さんは中央大学の大学院で社会学を専攻されていて、ご自身も知的障害のある妹さんがいらっしゃるという立場で、これまでも各地で聞き取り調査をされています。今回は社会学の視点から「知的障害者家族のあたりまえを問い直す」というお話で、事例を参照しながら検証されていました。その中で、これまでの経験から様々な困難が予想され、簡単に新たな生活を選択できない、母親を中心とした家族介護の中で、本人をよく知る家族の方が頼みやすく、福祉サービスを利用するということまで至らない等母親の心理が見えてきます。またGHや自立生活等他者が関わる場面において、それとの比較の中で自身によるケアが何物にも代え難いものであることを認識し、そのことによる「代替不可能性」が形成されていくと分析されています。

●その点についてはグループワークの後の発表の中でも、意を決して子どもに自立生活を始めさせたがしばらくして現場でのネグレクトや暴言が発覚していまはまた家族と暮らしているというお母さんからの話もあり、実際に支援に携わる立場として深く問われるテーマだとあらためて考えさせられました。

家族においては、こどもと父親がよい関係の時には父親が関わるが、母親にとってその存在は「同士」として同じ目線で関わってほしいわけではなく、あくまで母親がうまくケアを回せる範囲での関りを求めている、兄弟姉妹も同様に家族内で母親傘下による介護環境になっている。それはとにかく「母親だから」とか「母親の愛情が」と簡単に言ってしまいがちだが、じゃあなんでそうなっちゃってるのか?を真剣に考えてみるのが重要なのではないかという課題提起でした。

●私自身もこれまで自立生活の支援を続けてくる中で、親(母)が口を挟まないことを求める部分もあり、実際にあるステップの中ではそうしないと呪縛から抜けられず本人主体というところが見えてこないと思ってきましたが、そのままでは対立構造が続いたままになり、また前述したような支援者側の課題も見えなくなってしまいます。ディスコミュニケーションの状態から、母親や家族も本人を中心とした同じワンチームとして、どう関係を作っていくのか、社会が母親に対しケアを押し付けてきたことに対する捉え返しをしながら今後に向けて考えていかなければと思います。

●第3回は2022年1月開催予定。テーマは「働く」「ともに働く」

所用で懇親会を欠席したのが残念でしたが交流会も行うことになり、今後に期待しています。

(櫻原)



月例会 案内

■11月11日(木)
10:00~12:00

(事務所・zoom)
虐待防止研修

今月の月例会は、障害者虐待防止・権利擁護研修を行います。毎年1度は研修を受けることになっています。あらためて確認、振り返りができる場ですのでぜひご参加ください。

【月例会に参加できない場合はレポートを提出して戴きます。参加できない方にはメールにてお知らせします。】



編集後記 & うちの子刺繍 プレゼント 希望者募集

作品展、ありがとうございました。沢山の方にご協力いただき、無事終了の見込みです。観に行ってくださいましたか?

次回は参加してみたいな?と欲していただけでしたか? お待ちしています。是非、一緒に盛り上げてくださいね。

自粛が空けたから、新宿の3Dの猫を観に行ってきましたよ。大きくて可愛い~。

さて、今回のプレゼントですが、作品展の刺繍で図に乗りまして「うちの子刺繍」のリクエストを募集します!写真を添付して送っていただいた先着1名様に右写真のような刺繍枠でのプレゼント。(島村)

